

<b>重点目標</b>	地域と共に育ち、共生社会の形成に寄与する学校づくりの推進
-------------	------------------------------

<b>現 状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恵まれた自然環境と開校当初からの理解ある地域との関係を活かした教育課程を編成・実施している。</li> <li>・ 竣工式典の円滑な実施に向け、秋田県教育委員会と連携しながら式典の準備を計画的に進めている。</li> <li>・ 地域交流室、食品加工室、寄宿舎の自立生活体験エリア等、新校舎の機能を最大限に活かした教育活動に取り組んでいる。</li> </ul>
------------	--

<b>具体的な目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 竣工式典を通しての新校舎の機能や本校の特色ある教育活動の周知</li> <li>・ 学校と地域が共に育つ教育活動の推進と時代に求められる児童生徒の資質・能力の育成</li> </ul>
---------------	---

<b>目標達成のための方策</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新校舎の機能や特色ある教育活動を地域に周知するための仕掛けづくりを工夫し、秋田県教育委員会と連携しながら竣工式典の実施に向け計画的に取り組む。</li> <li>2 「各教科の『目標』『内容』を明らかにした授業づくり」の研究主題の下、今年度からの3か年計画で研究を進め、研究の視点を教職員で共有しながら授業づくりに取り組む。</li> <li>3 共生社会の形成に向け、交流及び共同学習や障害理解授業を積極的に展開する。</li> </ol>
-------------------	--

<b>具体的な取組状況</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 竣工式典におけるアトラクションでは、大館桂桜高等学校の吹奏楽部の演奏により本校児童生徒が秋田県民歌等を披露したり、児童生徒が新校舎の様子をビデオで紹介する「school movie」を放映したりした。また、当日に向けて、中・高等部生が作業学習製品を製作し、記念品として来賓に配付した。</li> <li>2 地域を題材としたり、地域とつながりをもったりする生活単元学習の授業を通して、「育成を目指す各教科の資質・能力」を確実に身に付けることができるように授業づくりに取り組んだ。各学部の全校授業研究会のほか、公開研究会の指導助言を基に授業改善に取り組んだ。</li> <li>3 交流及び共同学習の事前学習で相手校の児童生徒を対象に本校職員が障害理解授業を行ったり、相手校の学級担任とともに交流の授業をつくったりした。地域との共催で行っている夏祭りでは、ボランティアとして大館市内の高校生に、夏祭りの運営に携わってもらいながら、本校の理解啓発につなげた。</li> </ol>
-----------------	---

P

D

達成状況	<p>1 式典当日は秋田県知事をはじめ多くの来賓の参加があったが、練習を重ねてきたことにより児童生徒は見通しをもって本番に臨み、それぞれの役割に意欲的に取り組むことができた。来賓からは、新校舎の活用の様子が分かる児童生徒を主体とした素晴らしい式典であったなどの称賛を受けた。</p> <p>2 生活単元学習における各教科の「目標」「内容」を明らかにし、「育成を目指す資質・能力」を身に付けることができる有効な手段を研究を通して探った。1年間研究を推進してきたことで、単元構想、活動内容、教師の発問、評価規準など各教科の「目標」「内容」を意識した授業づくりが校内においてかなり浸透してきている。</p> <p>3 交流及び共同学習については、本校職員と相手校の学級担任と一緒に授業をつくりあげたことにより、相手校からは「優しくポジティブな言葉掛けが児童生徒同士の関わりの中で多く見られたこと」や、共生社会に向けて「互いを理解しあう」という認識の下、活動を計画したり実施したりすることができたなどの声があった。</p>	D
------	---	---

自己評価	<p>(評価)</p> <p>A</p> <p>(根拠)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価において、「地域と共に育ち、共生社会に寄与する学校づくりができたか」の設問に対し、98.8%の職員が「よかった」「まずまずよかった」と回答した。また、97.2%の保護者が「はい」「どちらかといえばはい」と回答した。</li> </ul>	C
------	--	---

学校関係者評価と意見	<p>(評価)</p> <p>A</p> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校評議員兼学校関係者評価委員会において、「地域人材の活用が多様で、児童生徒の力になっている」や「深い学びの実現を目指し、学習指導要領に基づき、生きる力を確実に育むための活動に取り組んでいる」などの評価をいただいた。</li> <li>共生社会に寄与する教育活動として、地域との共催による夏祭りなど地域住民と交流する機会をもったり、地域住民を巻き込んだ総合防災訓練や地域の除雪ボランティアなどの地域貢献をしたりしていることについて評価していただいた。</li> </ul>	C
------------	--	---

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>「竣工式典」で得た成果と課題について検証し、今後の地域と学校との関わりや学校間交流など新たな展開につなげる。</li> <li>学校評議員兼学校関係者評価委員会において、地域への理解啓発をより高めていくために「交流の中に地域の人たちや保護者の方々をどう巻き込んでいくか」などの御助言をいただいた。地域の理解啓発は、保護者アンケートでも期待の声が多く挙がっている項目であることから、職員全員で共有して具体策を検討していく。</li> <li>公開研究会において指導主事の方々からは、児童生徒の思いや願いを踏まえることが大切で、その上で「育成を目指す各教科の資質・能力」を育む視点を加えることによって、より確かな学びにつながるなどの指導助言があった。助言を職員間で共有しながら、更なる専門性の向上につなげていく。</li> </ul>	A
-----------------------	--	---